

2010年度 大阪聖母学院小学校 学校評価 報告

1 本校の学校評価のねらい

本校では、建学の精神のもと、すべての子どもたちが心から「学校が楽しい」と言える学校づくりを目指しております。3年目の今年もあくまでも子どもの視点から「学校が楽しい」状態になっているのかどうかを評価し、その達成状況をもとに、改善をすすめていくことを、ねらいといたしました。あわせて「家庭が楽しい」状況になっているのかどうかについても評価し、学校と家庭が一層連携協力をしながら、子どもたちを取り巻く環境がより良いものとなっていくことを目指しました。

2 学校評価の方法

4月最初の学校だよりで、学校教育目標を全保護者に示し、最初の参観時にその具現化にむけてどのように取り組んでいくのかを説明しました。そのうえで以下のような流れで、学校評価を進めていきました。

- ① 子どもたちを対象とした「学校生活や家庭生活の満足度アンケート」を実施しました。このアンケートは、「目指す子ども像」に対応する形で、「友達関係を中心とした満足度」「学習（授業・行事・教師との関係）を中心とした満足度」「カトリックの宗教的価値観の浸透度」の三つの領域で質問を準備しました。また「家庭生活を中心とした満足度」を領域とする質問、さらに、「自分のことが好きだ」という自尊感情を問う質問と、「学校が好きだ」という帰属意識を問う質問も加えました。(6/30)
- ② 教員は、自分たちが実践している教育活動がどの程度達成できていると感じているのか、また本校の課題はどこにあると感じているのかについて、教員対象のアンケートを実施しました。(6/23)
- ③ 教員夏季研修会にて、子どもたちおよび教員へのアンケート集計結果をもとに課題を明らかにするとともに、それを改善するための方策を話し合いました。(8/26)
- ④ 子どもたちを対象とした「学校生活や家庭生活の満足度アンケート」の集計結果を配付するとともに、保護者の意見を聴取するため「保護者による学校評価アンケート」実施への協力を依頼しました。(9/8)

- ⑤ 各学年の後期における改善策とともに、「保護者による学校評価アンケート」の全校集計の結果および主な記述意見に対する学校の見解を、保護者に配付しました。(11/10)
- ⑥ 後期の改善策の達成度を確認するために、第2回目の子どもたちを対象とした「学校生活や家庭生活の満足度アンケート」を実施しました。質問項目は前回と同じもので実施いたしました。(2/9)
- ⑦ 第2回目の子どもたちを対象とした「学校生活や家庭生活の満足度アンケート」の集計結果と、あわせて各学年ごとに結果をふりかえってのまとめを配付いたしました。(2/14)
- ⑧ 保護者会長、小学校評議員、学級委員の方々に集まっただき、今年度の本校の学校評価ならびにそれをもとにした改善策の取組に対しまして、「学校関係者評価」を行っていただきました。(3/3)
- ⑨ 学校だよりにて、「学校関係者評価」で頂いた主な意見を紹介するとともに、今年度の学校評価で明らかになった本校の課題に向けて、次年度一層努力することを表明いたしました。(3/15)

3 児童アンケートを中心に評価結果をふりかえって

【友達関係を中心とした満足度】

- ・ 「仲の良い友達がいる」という設問に、90%以上の子どもが「よくあてはまる」と答え、概ね良好な友達関係が築けているといえます。
- ・ 「友達のことで困ったとき、先生にお話できる」という設問では、昨年に引き続き、高学年になるほどできると答えた子どもが少なくなる傾向でした。いじめの早期発見・解決の観点からも大きな課題です。
- ・ 「友だちに、イヤなことはイヤと言える。」という設問に「よくあてはまる」と答えた子どもは昨年の約60%超から70%超に改善した一方、「友だちがケンカや、してはいけないことをしていたときに注意できる」という設問に「よくあてはまる」と答えた子どもは50%台にとどまり、規範意識に従って行動するという面で課題が残ります。

【学習を中心とした満足度】

- ・ 昨年同様どの教科も「よくあてはまる」「すこしあてはまる」を合わせますと85%を超えていますが、少数とはいえ楽しくないと感じている子どもがいることがわかりました。
- ・ 「授業でわからないことについて先生に質問できる」という設問には、「あ

まりあてはまらない」「まったくあてはまらない」と答えた子どもの割合がまだ15%あり、課題として残りました。

- ・ 「先生は、学習で努力したことをわかってくれる。」という設問については、90%以上の子どもが「よくあてはまる」「すこしあてはまる」と答えており、ほめることを大事にして取り組んだ成果と思われます。

【カトリックの宗教的価値観の浸透度】

- ・ 「神様がいつもともにいてくださると感じている」「宗教の授業は、わかりやすく楽しい」という設問には、全校で約90%が、また6年でも66%の子どもたちがそのように感じているという嬉しい結果でありました。
- ・ 「お祈りのときに良い姿勢で心こめてしている」「聖母月などの実践目標に進んで取り組もうとしている」などの設問に対して「よくあてはまる」「すこしあてはまる」が6年でも74%以上あり、昨年を大きく上回りました。低学年で培ってきた宗教心を高学年で発展させるという課題に対しては一定の成果があったと言えます。
- ・ ただ「宗教の時間で学んだことは、生活の中で役立っている」という設問に対しては、「よくあてはまる」「すこしあてはまる」が、4年までは90%あったのに、5年では75%、また6年では60%と下がってきています。高学年における宗教の授業内容の工夫が求められる点です。

【家庭生活を中心とした満足度】

- ・ 概ね家庭生活についての設問に対しては満足度が高く、「家族の人と一緒にいることは楽しい」「家族のことが好きだ」という設問には、全学年で90%以上の子どもが「よくあてはまる」「少しあてはまる」と答えています。
- ・ その反面「家族みんなと一緒に何かをする機会が多い」という設問では若干満足度が低くなっており、家族が揃う場面が少ない家庭もあることが伺えます。

【自尊感情】

- ・ 「自分が好きだ」と感じている子どもは、「よくあてはまる」「少しあてはまる」を合わせて、全校では90%、6年でも89%に達していて概ね良い結果でした。しかし自分を好きだと思えない子どもが全校では4%もいることは、大きな課題だと思います。

【帰属意識】

- ・ 「学校が好きだ」と感じている子どもは、「よくあてはまる」「少しあてはまる」を合わせて、全校では92%、6年でも86%に達していました。一方学校をどちらかという、あまり好きではない子どもが、全校では8%、6年では16%もあったことも、今後の課題です。

4 保護者アンケートを中心に評価結果をふりかえって

20項目ある設問において、満足を示す「よくあてはまる」「すこしあてはまる」の割合が、90%をこえた項目が12項目ありました。また残りの8項目では、「よくあてはまる」の割合が50%を切っており、半数以上の方が満足度において十分ではないと感じておられる現状が浮かび上がってきます。それを踏まえすと、以下のような課題が明らかになってきます。

- ・ 進んで学習したりまわりの人のために働いたりできる子どもを育成する。
- ・ 楽しくわかりやすい個々に応じた授業に改善する。
- ・ 友達関係で問題が発生したときは、いっそう適切な指導を心がける。
- ・ 学習状況の説明・相談はもちろん、保護者との連携を充実する。
- ・ 保護者の宗教教育への理解と関心を高める取り組みを充実する。

4 今年度の学校評価から明らかとなった課題

- ① 良くないことをしている友達に、しっかりと注意できる逞しい規範意識が、高学年になっても行動として実践できるように、その力を低学年から育てることが必要です。
- ② 宗教的な実践活動が自分の生活に役立つという実感が持てるような、宗教教育を展開しなければなりません。
- ③ 学習面では、いっそう力がつくわかる授業、楽しい授業を目指して、授業改善につとめます。
- ④ 少数であっても、授業が楽しくない、自分が好きではない、学校が楽しくないと感じている子どもがいることを認識して、指導の改善を目指します。
- ⑤ 保護者の願いをしっかりと受け止めて、いっそう連携を深めてまいります。

次年度におきましては、いっそう私たちの指導力を高めていくことを中心的な課題として、満足度が高まりますように取り組んでいきます。

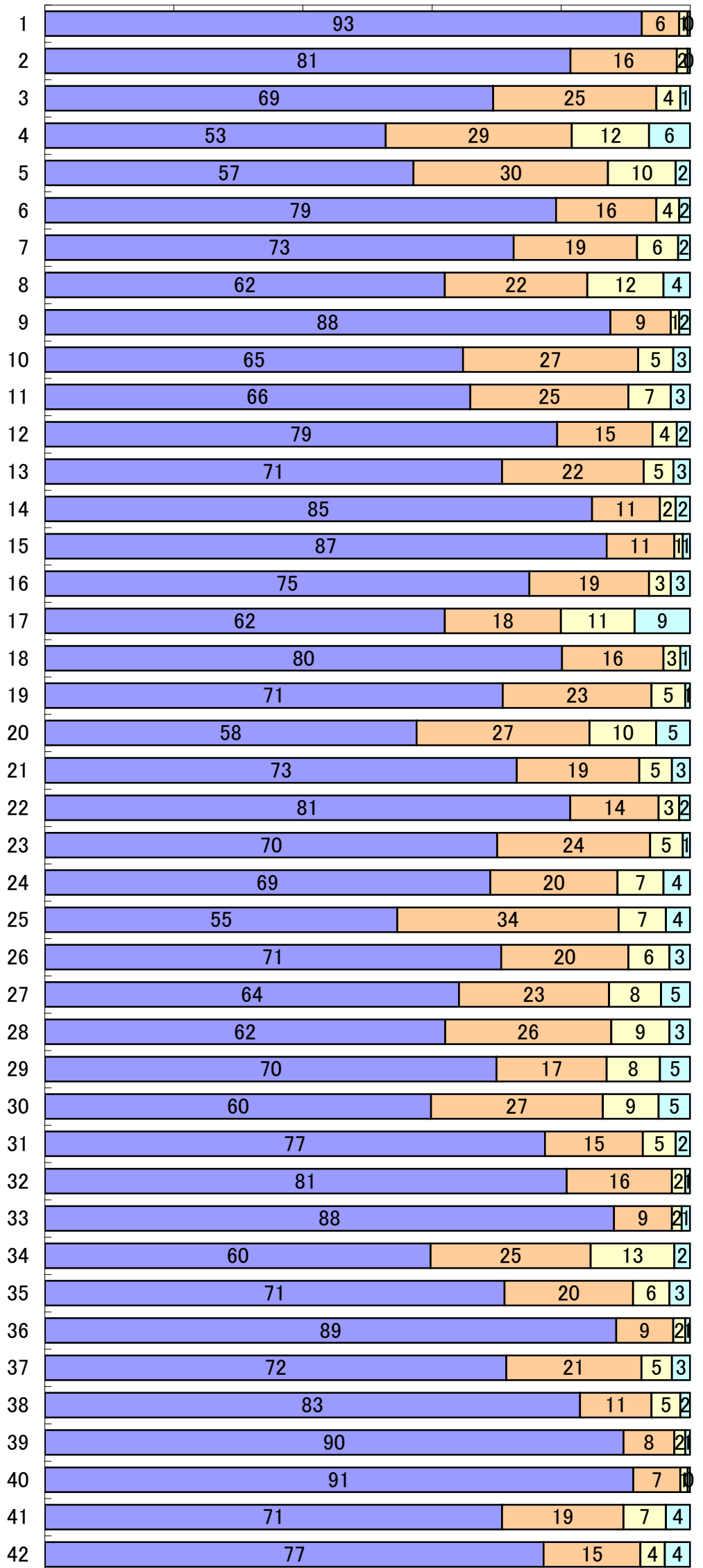
児童質問内容

2010年度全児童集計

■よくあてはまる
 ■すこしあてはまる
 ■あまりあてはまらない
 ■まったくあてはまらない

0% 20% 40% 60% 80% 100%

1	仲の良い友だちがいる。
2	クラスの人と、仲良くできている。
3	友だちとケンカしても、すぐに仲直りできる。
4	友だちのことで、困ったことがあったら、先生にお話できる。
5	友だちがケンカや、してはいけないことをしていたときに、注意できる。
6	友だちを自分からさそって遊べる。
7	友だちに、イヤなことは、イヤと言える。
8	友だちから、いじめられたことがない。
9	遠足はたのしい。
10	国語の授業はわかりやすく楽しい。
11	算数の授業はわかりやすく楽しい。
12	理科の授業はわかりやすく楽しい。
13	社会の授業はわかりやすく楽しい。
14	体育の授業はわかりやすく楽しい。
15	図工の授業はわかりやすく楽しい。
16	音楽の授業はわかりやすく楽しい。
17	英語の授業はわかりやすく楽しい。
18	先生は、出したものを、ていねいに見てくれる。
19	授業中、意見を聞いたり発表したりするときがある。
20	勉強でわからないことがあったら、先生に聞きやすい。
21	先生は、学習で努力したことをわかってくれる。
22	教室・特別教室・運動場などは、学習がしやすいようにととのえられている。
23	ビデオなどの視聴覚機器やコンピュータなどを使う機会がよくある。
24	神様が、いつも ともに いてくださると感じている。
25	お祈りのとき良い姿勢で心をこめてしている。
26	宗教の授業は、わかりやすく楽しい。
27	祈りの集い・ロザリオの祈り・ミサなどは、自分のためになっている。
28	聖母月などの実践目標に進んで取り組もうとしている。
29	好きな御言葉や聖書の話がある。
30	宗教の授業で学んだことは、生活の中で役立っている。
31	この学校でお祈りや聖歌や神様のことを教えてもらってよかったと思う。
32	「おはよう」「いただきます」「ごちそうさま」「いってきます」「ただいま」「おやすみなさい」など、自分から家族に言っている。
33	朝ごはんをいつも食べている。
34	家族みんなで一緒に何かをする機会が多い。
35	家族の人に自分の思っていることを話している。
36	家族の人と一緒にいることは楽しい。
37	次の日の学校の準備は一人でできている。
38	家族の人は、いいことをしたらほめてくれる。
39	家族の人は、悪いことをしたらしからせてくれる。
40	家族のことが好きだ
41	自分のことが、好きだ。
42	学校が好きだ。



保護者用質問内容

2010年度保護者集計

1	学校教育目標・目指す子ども像は保護者の願いにかなっている。
2	わが子は友達を大切にする子どもに育てている。
3	わが子は進んで学習する子どもに育てている。
4	わが子はまわりの人のために自分の力を喜んで発揮する子どもに育てている。
5	わが子は健康や安全に留意する子どもに育てている。
6	学校ではよい友達関係をきずく指導ができています。
7	学校ではわが子が友達関係のことで困ったときに、適切な指導ができています。
8	保護者から見て授業はわかりやすく学力がつくものとなっている。
9	授業ではひとりひとりの子どもに応じた指導が行われている。
10	保護者へ学習状況等についての説明は十分になされており相談を気軽にできる。
11	学校ではカトリック精神に基いた人間教育が十分行われている。
12	まわりの人を大切にする行動が家庭でも実践できていると感じる。
13	保護者としても宗教教育に関心を持って子どもに関わっている。
14	わが子が何を考えているか、保護者として大体把握できている。
15	わが子は学校が楽しいと言って、行くのを楽しみにしている。
16	わが子は授業が楽しくわかりやすいと言っている。
17	学校での騒ぎやきまりを守ることの指導は徹底されている。
18	学校と保護者との連携は密に行われている。
19	学校の施設・設備等の教育環境は整っている。
20	わが子を大阪聖母学院小学校に入学させて満足している。

